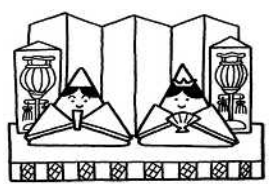


安心してくらせる町づくり 不正を正してこそ

「ちびっいなあ、たった一人が質問か？」

くらしの大変さが深刻化し、格差が広がる中、政治・行政の責任が問われています。私達に寄せられる町民の方々の相談も大変深刻で、その一端を象徴しているように思われます。
甲良町議会3月定例会が9日(火)から開会され、町民の暮らしに直結する予算などが審議されます。一般質問の通告が25日締め切られ、西澤議員ただ一人、「言論の府」がさびしい限りです。

育成のための開かれたルールづくりが必要。今までの公共事業・公共工事での総括と反省をふまえて。



日本共産党の見解を紹介します。

西澤議員の一般質問通告の要旨を紹介し

子どもの医療費無料化制度の拡充について

家計負担を少なくしようとして、「診療抑制」の傾向が強まっていると報じられている。家計応援と子育て支援、「子どもの成長を社会全体で」の具体化の一つとして検討を。外来、入院それぞれの財政出動規模の試算は？などの見解を求める。

談合情報・談合疑惑について

新たな疑惑が浮かんできており、「公正な入札」の制度と実施をすすめるためにも疑惑に正面から向き合い、説明が必要ではないか。

1、調査委員会の設置について

2、「談合情報通報者が前町長に謝罪」は事実なのか。

3、最低制限価格の問題点

4、「官製談合」の疑いが強くなったのでは。

町幹部職員が関わる公金使途不明金について

幹部公務員の資格にかかわることがらであり、町としてもあいまいにすることは許されない。

1、疑惑の具体的内容を調査したか。

2、県補助事業に乗せてすすめた目的に向けた取り組みになるよう指導した中身について。

3、町への予算・決算報告・活動計画・報告は必要なのか。

改良住宅の払下げ促進について

地域住民の自立促進と同和対策事業の公正で重要な後始末に欠かせない課題ではないか。現状と課題は。問題に即してどのようにすすめる方針か。

「公契約条例」制定にむけて

安全・安心の公事業・公共サービスの提供のため、労働者・下請・地元企業の保護・

3月議会・一般質問は9日に(予定)

平成22年度予算などを審議・決定する3月議会は以下の日程ではじまります。正式には1日の議会運営委員会で確認されます。

- 8日(月) 議会全員協議会
- 9日(火) 本会議・開会、**一般質問**
- 11日(木) 予算決算常任委員会
- 12日(金) 予算決算常任委員会
- 15日(月) 総務民生常任委員会
産業建設文教常任委員会
- 19日(金) 本会議・討論採決など、閉会
どなたも本会議は傍聴できます。

「談合情報通報者が前町長に謝罪」にかかわる調査等を要請

西澤議員は2月26日北川町長あての「『談合情報通報者が謝罪』にかかわる調査等を求める要請書」を総務課長に手渡しました。

要請書では、12月議会における金澤博議員の一般質問(12月15日)に答えて総務主監が、談合情報通報者が山崎前町長に謝罪したことが事実である旨の答弁を行ったことを新たな疑惑だと表明。それは直後の面談(12月15日・18日)でも「謝罪は事実」とすら話せず、山崎前町長も「謝罪は事実」を裏づける回答もないこと、「談合情報通報者」とされるA氏の抗議に表れていると指摘。「つくり話」の疑いがますます濃厚となったと強調しました。

これが偽りの答弁だとすれば町内最高の決議機関である議会を甚だしく冒涇したことであり、入札事務の最高責任者の立場とは相いれないと強調。「つくり話」の背景は何か、誰がしかけたのか、主監の単独「狂言」だったのかなど、全てを明らかにする必要があります。

その上で、偽装答弁か否か、町長の責任において調査し公表されること。「偽装答弁」であった場合、背景など真相を調査し公表されること。「偽装答弁」であった場合の職員の処分。改めて弁護士等が加わる調査委員会の設置を求めています。

甲良民報

2010年2月28日 441号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在士 463
Tel.Fax38-4949